

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アートチャイルドケアSEDスクール山形城西		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 15日		2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	2
○従業者評価実施期間	2025年 10月 15日		2025年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○訪問先施設評価実施期間	2025年 10月 15日		2025年 10月 15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・同会社間での保育所と児童発達支援事業所ということで、職員間での連携も図りやすく相談や、検討会を柔軟に対応が図れる事が強みである。また、保育所等訪問支援と通所支援の併用利用で頂けている分、スクールでの姿、保育所での姿を把握しやすく、相互間での共有が出来る。	・保育所との連携が重要だと感じながら支援を進めている。事業所と保育所との方向性を共通していくための月でリモートの検討会を実施している。そうすることで事業所での姿と保育所での姿との情報の共有の強化に繋がっている。	・連携の部分においては、このまま継続した形で、互いの施設間での無理のない時間帯で進めていきます。さらには保育所からの訪問が出来たら尚良いと思う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・限られた日程での支援になる為、職員の配置に困難な日が生じてしまうこともある。それにより、訪問の日程と保育所と、保護者様にご相談させていただく事がある。	・訪問の支援では、保育所と求める支援と、施設側との方向性の合致が重要と思われるため、一方的な支援にならないように、園との関係性を持ちながら進められる様にしていきたい。	・訪問支援の際には、細やかなことでも、常に保育所の先生との会話を積極的に行っていく。信頼関係に努め、必要に応じて事業所での利用児の様子の見学等も進め、連携の強化を図っていく。